

**ゆずりは　〜「花鎮抄（はなしずめしょう）」より〜　　　河合酔茗**

こどもたちよ、  
これは　ゆずりは　の木です。  
このゆずりは　は  
新しい葉ができると  
入れ代わって　古い葉が落ちてしまうのです。

こんなに　厚い葉  
こんなに　大きい葉でも  
新しい葉ができると　無造作に落ちる、  
新しい葉にいのちを譲って—。

こどもたちよ、  
おまえたちは　何をほしがらないでも  
すべてのものが　おまえたちに譲られるのです。　  
太陽のまわるかぎり  
譲られるものは　絶えません。

輝ける大都会も  
そっくりおまえたちが　譲り受けるものです、  
読みきれないほどの書物も。

みんなおまえたちの手に受け取るのです、  
幸福なるこどもたちよ、  
おまえたちの手はまだ小さいけれど—。

世のおとうさん　おかあさんたちは  
何一つ持っていかない。  
みんな　おまえたちに　譲っていくために、  
いのちあるもの　よいもの　美しいものを  
一生懸命に　造っています。

今おまえたちは　気がつかないけれど  
ひとりでに　いのちは伸びる。  
鳥のように歌い　花のように笑っている間に  
気がついてきます。

そしたらこどもたちよ、  
もう一度　ゆずりは　の木の下に立って  
ゆずりは　を見る時がくるでしょう。

©いいことさがそ　2013